

## 下森定教授定年退職記念号に寄せて

鈴木, 佑司

---

(出版者 / Publisher)

法学志林協会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法学志林 / Review of law and political sciences

(巻 / Volume)

99

(号 / Number)

1

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

2

(発行年 / Year)

2001-11-20

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00003565>

## 下森定教授定年退職記念号に寄せて

下森定先生は、二〇〇一年三月末日をもって法政大学法学部を定年退職されました。先生は、一九五六年四月、本学部に助手として就任されて以来、専任講師、助教授、教授として、四五年間にわたって本学部に在職されました。先生は、民法を専門とされ、研究、教育さらには学会等、多方面、多岐にわたる業績を残されました。先生の経歴と業績については本号掲載の資料をご参照ください。先生の研究者、教育者、市民としての豊かさの背景として以下の三点に触れたいと思います。

先生は、一九三〇年四月、島根県に生まれ、同県の津和野中学校を四年で修了の後、旧制山口高等学校文科乙類に進学、学制改革に伴い一年後に新制山口大学文学部に入學しましたが、一九五〇年に中退して広島大学政経学部に入學されました。同大学を卒業後、法政大学大学院私法学専攻修士課程に入學、研究活動に進まれ、一九六〇年には東京大学大学院民事法専攻博士課程を修了されています。

また、先生は、法政大学法学部に在籍されている間、東京大学や一橋大学、早稲田大学、慶応義塾大学（大学院）などで非常勤講師をされました。また、ドイツのフライブルグ大学、フランクフルト大学で在外研究を行われております。大学行政面でも学生部長、評議員、法学部長、現代法研究所長を歴任され、一九九五年には総長・理事長に選出され、大学改革に尽力されました。また、法政大学生活協同組合の理事長、法政大学出版局理事長を務められました。学会活動でも、日本私法学会、金融法学会、日本土地法学会、比較法学会、法社会学会、交通法学会、ドイツ法

下森定教授定年退職記念号に寄せて

二

学会、不動産学会等に所属され、日本私法学会の理事や土地法学会の監事を務められました。また労働法学会、民科法律部会に属されていたこともあります。

さらに、社会活動も多岐にわたります。建設省（現在の国土交通省に吸収）の研究会座長、委員長を務められた他、東京地裁の民事調停委員、不動産鑑定士試験委員、司法試験第二次試験考查委員、さらには大学基準協会、日本私立大学連盟、私立大学団体連合会等の役員を務められました。また、住民である世田谷区の各種委員を引き受けられています。

先生の研究業績と学問的貢献については本号所収の資料にある通りです。特に債権者取消権や瑕疵担保責任、給付障害法などに関連する研究では長らく学会をリードする役割を果たされました。その他に、川島博士の判例研究の法論を継承・発展させて、多くの判例研究を発表されています。その業績は沢山の労作からも伺うことができます。もうひとつ忘れてならないのは、先生が研究者の養成とともに、法曹界の担い手を多く世に輩出されてきたことです。研究、教育、そして大学行政をはじめとする社会的貢献の三つを果たされ、法と社会の関わりを解き明かし、その重要性を訴えつつつけてこられました。

このような、学内外での貢献にたいし、法学部教授会は二〇〇一年四月、先生を名誉教授に推薦することに決め、大学よりその称号が授与されました。

先生の本学への功績に報いるにはまことにささやかではありますが、法学部教授会は心から先生への感謝の意をこめて本号を先生に捧げたいと思います。

二〇〇一年十一月

法学部長 鈴木 佑司